



ZERO CARBON CITY TOKOROZAWA



マチごとゼロカーボン市民会議（第4回）
2022年11月27日

テーマ：移動からゼロカーボンを考える

グループワーク 結果の説明

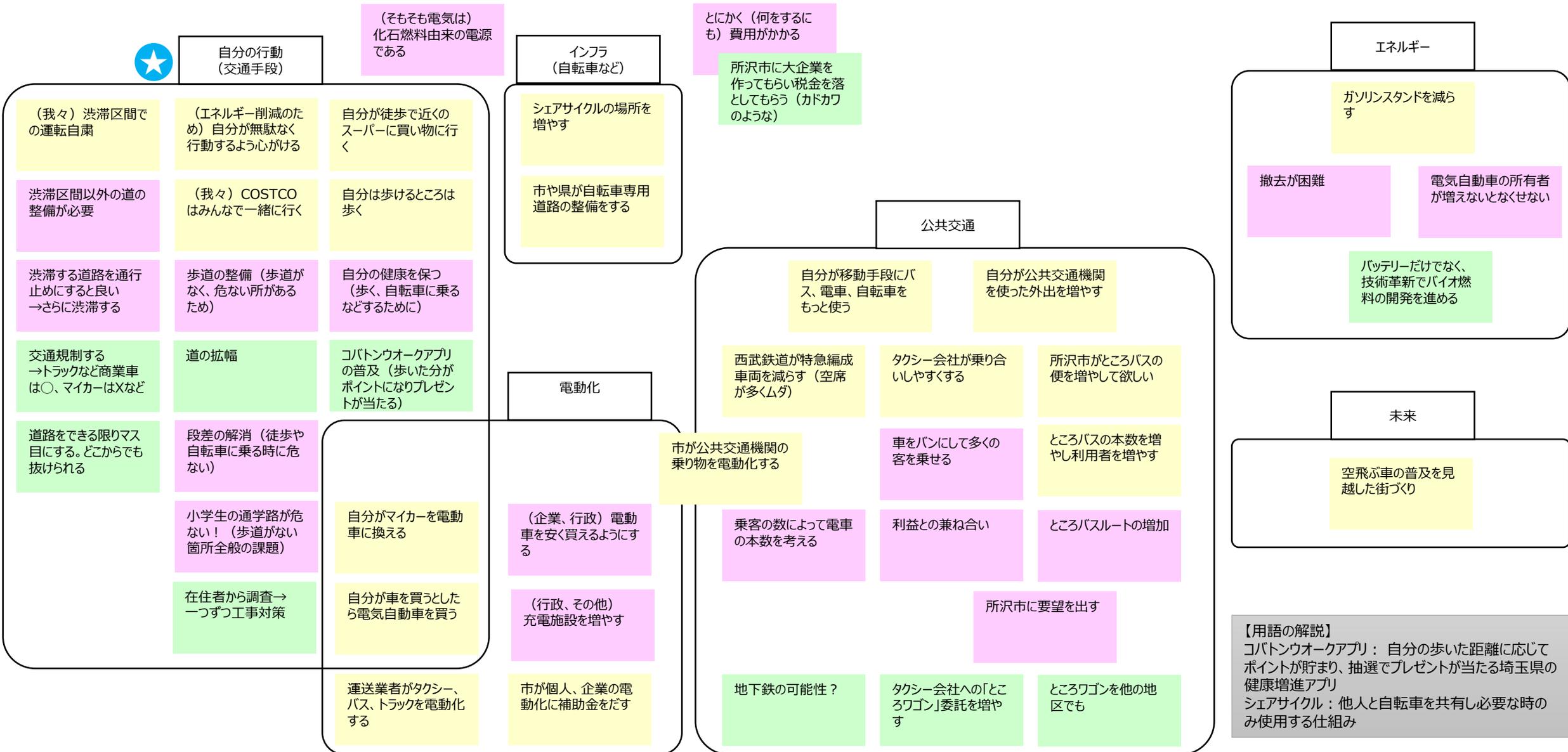


- ※ 黄色のポストイットは「取り組んだ方がよいこと」を書いたものです
- ※ 桃色のポストイットは「取り組むにあたっての課題」を書いたものです
- ※ 緑色のポストイットは「課題への方法（対策）」を書いたものです
- ※ 柿色のポストイットは、会議中もしくは会議後に補足説明するために加えたものです
- ※ 水色の☆印は、グループで最も対話が深まった（イチオシ）「課題への方法（対策）」です。進行状況によりイチオシのないグループもあります。

マチごとゼロカーボン市民会議（第4回）

テーマ：移動からゼロカーボンを考える

グループ1

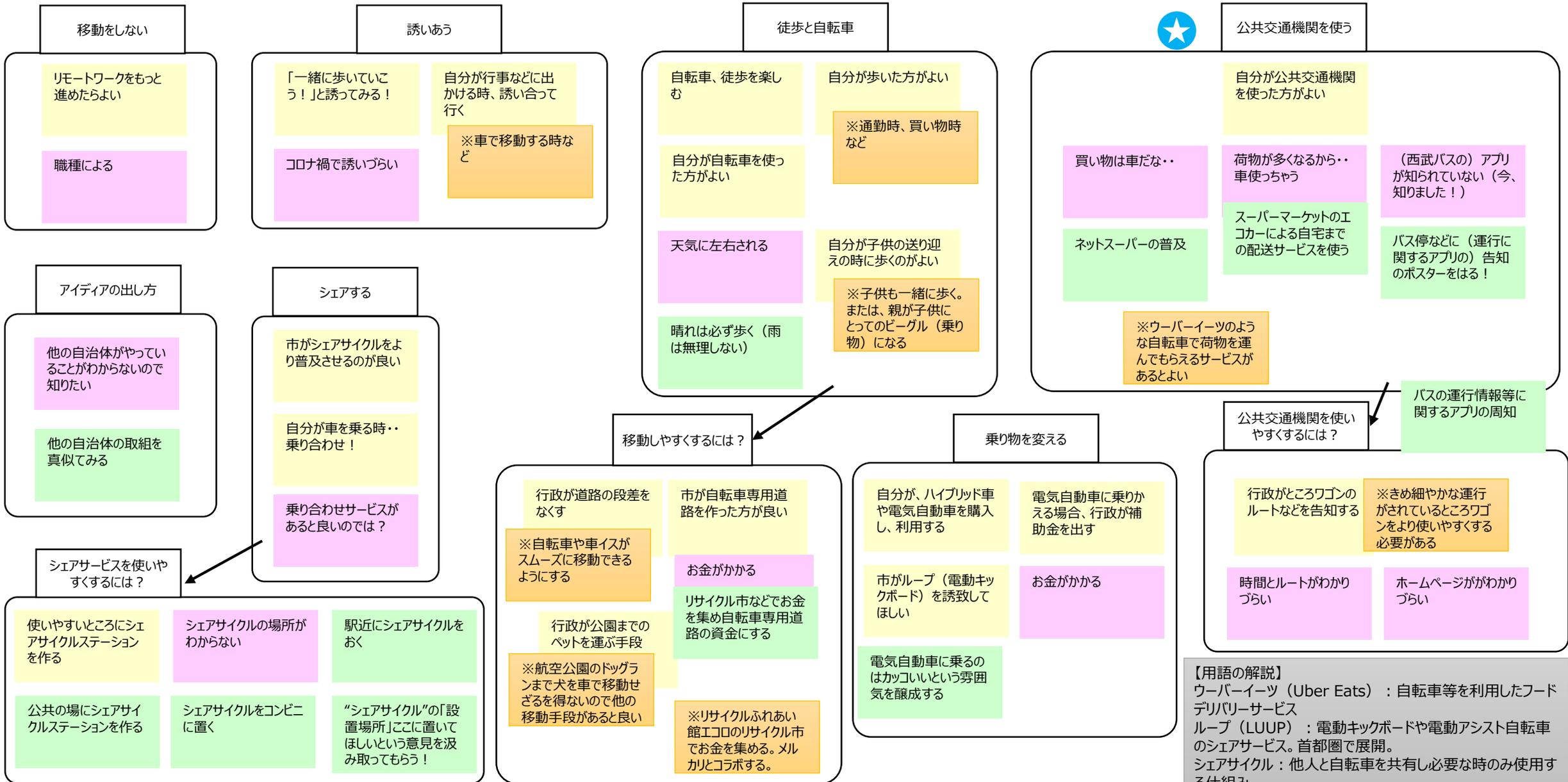


【用語の解説】
 コバトウウォークアプリ：自分の歩いた距離に応じてポイントが貯まり、抽選でプレゼントが当たる埼玉県の健康増進アプリ
 シェアサイクル：他人と自転車を共有し必要な時のみ使用する仕組み

マチごとゼロカーボン市民会議（第4回）

テーマ：移動からゼロカーボンを考える

グループ2



マチごとゼロカーボン市民会議（第4回）

テーマ：移動からゼロカーボンを考える

グループ3



徒歩・自転車での移動促進

歩ける範囲の目的地へは歩いて移動する	自分が徒歩移動する	自分が徒歩・自転車で移動する
自分が自転車を活用していく	自分が近所に楽しみを見つける（車を利用して目的地に行かなくて済む）	家族がコンビニに車で行くのをやめる
自分が駅の近くに引越す（駅や他の目的地に歩いて行くため）	行政がシェアサイクルを進める	
体力が落ちた時に徒歩移動は大丈夫なのか心配	家族が徒歩やバス・電車の移動を嫌う（バスや電車の時間に合わせる必要があるため）	自転車のマナーが悪い人がいる（安心して自転車に乗れない）
シェアサイクルを知らない人が多い	家から駅が遠すぎて徒歩移動できない	
行政が自転車も免許制にする（自転車マナーを向上させるため）	行政がSNSやポスターで自転車マナーを啓発する	行政がシェアサイクルについてPRする
自分の体力に合わせて引越す場所を決める（目的地へ歩いて行くため）	自分が家族と所沢駅での買い物はバス移動にする	行政がシェアサイクルについてPRする

公共交通機関での移動促進

自分がゼロカーボンに繋がる交通手段について考える	自分と家族がマイカーを使わない	自分が公共交通機関の利用を促進する
行政による公共交通機関利用助成（公共交通機関を無料・低額で利用できる）	バス会社がバスの運行本数を増やす	公共交通での移動を中心にした移動で予定を立てる
利用者にとっての公共交通機関の不便生（駅までのアクセスや時間を合わせること）	行政・民間にとって利用促進施策を行う資源不足	運行本数を増やすことでその分エネルギーを使うので省エネでなくなる可能性
運行本数を増やして利用者が増えるかは不明	自分がバスの時間を待てない	企業がバス1台の大きさを小さくして運行本数を増やす分消費エネルギーを抑える
自分がバスロケーションシステムをうまく活用する	企業が電車とバスの乗り継ぎをスムーズにできる時刻表にする	オランダ・ドイツなど官民連携による公共交通機関利用促進を参考にする

【用語の解説】

シェアサイクル：他人と自転車を共有し必要な時のみ使用する仕組み
 バスロケーションシステム：バスの運航管理者がGPS等によって車両の位置情報を取得し、バス停や携帯電話で運行状況や到着予定時刻等の情報を利用者に提供するサービス

歩きやすい歩道の整備

自分が歩道について発信する（歩道が狭い、危険など）	行政が歩きやすい歩道にして徒歩移動を増やす	道路管理者が道路を渡りやすくする（歩行者の青信号時間を長くする）
行政が歩道を歩きやすく作り直す	歩道がでこぼこで歩きづらい	自転車を活用するには段差のない道路が必要
歩道を拡大するための用地をどう確保するのか	歩道の拡充には電柱の地中化が必要	
行政が水道管工事などの後に歩道を綺麗に舗装する	電柱の地中化は歩道幅で実現できる	

その他

自治体は「エコ街づくり」を頑張してほしい	自治体がまちなかに公共駐車場を作る	※町の中心部は車が通らない歩行者中心の空間にする
自宅から公共駐車場まで距離のある街に住みたい人がいるのか	自動車利用を中心としなくても魅力があるまちづくりをする	

マチごとゼロカーボン市民会議（第4回）

テーマ：移動からゼロカーボンを考える

グループ5



まちづくり

行政が歩きたくなるような景観（桜・植物）にする

行政が街灯が多く、歩いても安全で治安が良いまちにする

行政が観光地化する



道路の整備

行政が自転車用の道を整備する

行政が安全に歩ける歩道に整備する

税金がかかる

時間がかかる

屋根付きの道（歩道・自転車専用道路）をつくる

クラウドファンディングを実施する（道に名前や自分の手形を残すことができる）

他の地区にふるさと納税をせず、所沢市に納税する

コンパクトなまちづくりをする

クルマを変える

自分がCO₂排出の少ないクルマ（EVなど）に乗る

自分が電気自動車・水素自動車を買った方が良い

お金がかかる

電気自動車購入時の補助金が少ない

電気自動車は高い

街中に充電スタンドが少ない

電気自動車に好きなデザインがない

補助金を増額する

公共施設に充電スタンドを設置する

集合住宅（団地・マンション）に充電スタンドを必ず一つ設置する

買い替え時期に、電気自動車と同等の金額で購入できるようにする

米軍基地にメガソーラーを設置する

※動力源を再生エネルギーで賄い、電気自動車からのCO₂排出を抑制する

乗り方を変える

自分が自転車移動に取り組んだ方が良い

自分が電車移動に取り組んだ方が良い

自分がバス移動に取り組んだ方が良い

自分が自家用車以外の移動を選択肢として考える

公共交通は移動するのに時間がかかる

公共交通は目的地まで行かない

公共交通は時間が読めず、小さい子供がいると大変（ぐずる）

クルマ・電車・バス以外の公共交通を知らない（ところワゴンなど）

公共交通が目的地までの移動手段を用意する

子供がぐずっても寛容な車内環境を整える

※公共交通を使ってどこに行くのか(目的地)を把握して走らせる

クルマでの移動を減らす

自分が買い物近所で済みます

健康の観点でのダイエット効果など、副次的効果を知る

車はやっぱり必要

近所ばかりのお店だと飽きる

意識を変える

コストコでの大型商品購入時は車で行くため、よりお店が配送制度を整える

お店で日替わりや週替わりのイベントを行うことで、飽きさせないように工夫する

なるべく車に乗らないように行動する

シェア制度

シェアバイク（キックボードなど）を楽しめる工夫を広めていく

荷物を多く乗せられるシェアバイクを開発する

荷物を多く乗せられるシェアバイクがない（カゴが小さい）

誰でも、簡単にシェアサイクルを利用できるような制度

ニーズに合わせてシェアする乗り物を用意する

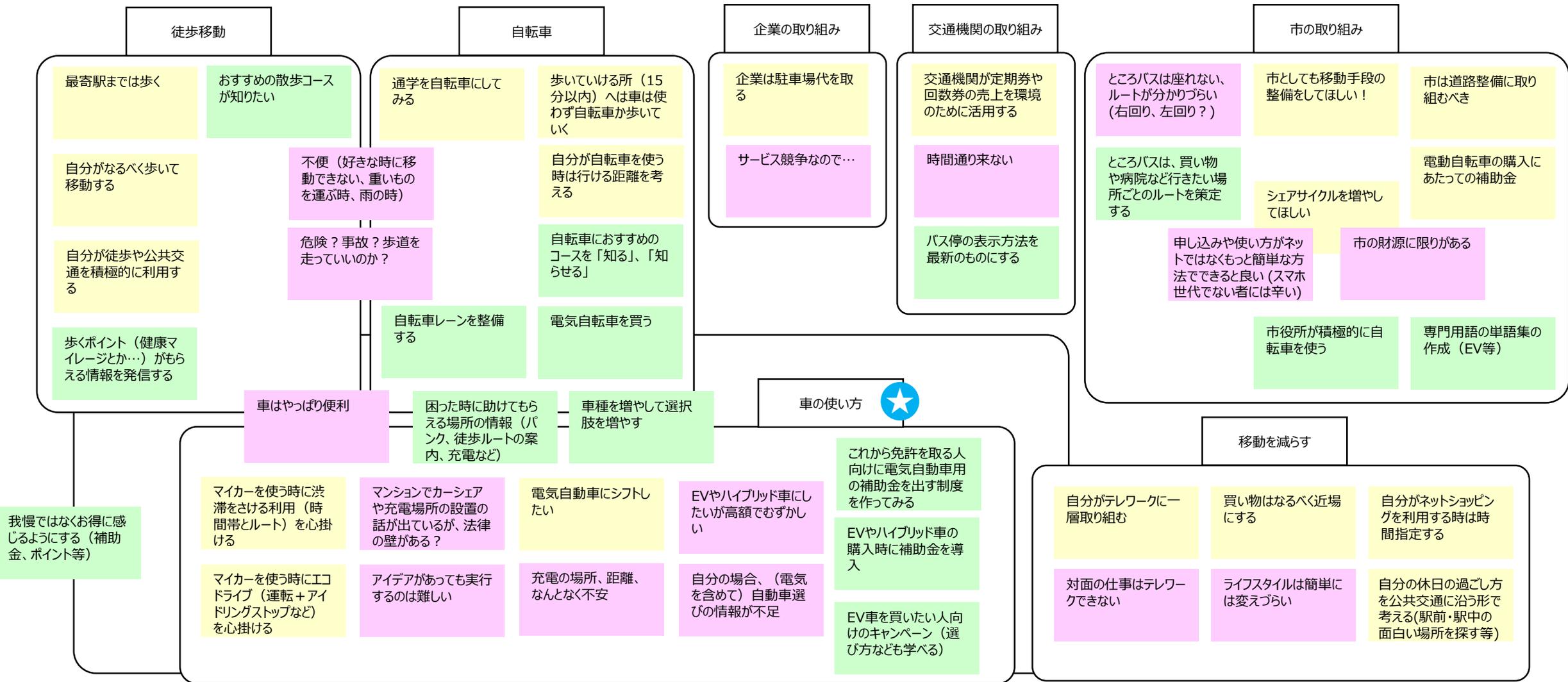
ベビーカーのシェアをできるようにする（子育てサポート）

【用語の解説】
シェアサイクル or シェアバイク：他人と自転車を共有し必要な時のみ使用する仕組み

マチごとゼロカーボン市民会議（第4回）

テーマ：移動からゼロカーボンを考える

グループ6



【用語の解説】
 シェアサイクル：他人と自転車を共有し必要な時のみ使用する仕組み

マチごとゼロカーボン市民会議（第4回）

テーマ：移動からゼロカーボンを考える

グループ7



市の施策

所沢市が自転車専用道路を増やす	ところバスの周知のために一日乗り放題を実施する	ところバスをもっと簡単に利用できないかスマホで位置を検索できるなど
自転車専用レーンがある所も車の路駐がみられる。ガードレールがないため危ない	シェアサイクルを初めての街で利用したが、料金や使いやすさにもっと工夫がほしい	位置がわかると便利
車を通りにくくするために広場をつくる	返却する際の手間(返却場所が空いていないことも)や、すぐに高くなる料金	返したい場所に返せないことがある
所沢、狭山、飯能の三市でガソリン車を廃止する	自分がシェアサイクル自転車に乗り慣れていないのであぶない	市が全ての道を歩けるように整備してほしい(登校中の子供の安全を！)
電気自動車の重さに道路が耐えられるのか	シェアサイクルの料金見直し(高い場合)や使い方を誰にでもわかるよう表示する必要性	市にはエリアごとのランクという課題がある
特典として市がエコスコアを設け、環境にやさしい交通手段の利用者の税金を安くする	シェアサイクルは市のイベントやおまつり、学校の授業などで体験などをして使い方を周知	郊外エリアの道路整備の優先度が低く設定されている？地域ごとに車種も異なるからか
		ガードレールの無い細い歩道が多い。人命第一に、そうした場所を歩きたくなるように市が優先的に整備する

ライフスタイル

在宅ワークで家での冷暖房費が発生する学校などで在宅ワークを行うべきか	自分が車のない生活を続けていったほうが良い
自分が在宅ワークを導入する	自分が(マンション理事会が)カーシェア、シェアサイクルを導入する
自分や家族が同じ日にテレワークし、同じ日に外出する	マンション内の使われていない駐車場を活用する
自分が人口密度の高い地域を選んで住み続けたほうが良い	カーシェア、シェアサイクルをマンションに導入するとセキュリティに課題がある(住民の声もある)
車を持たない世帯へ市の交通機関を安く利用できるバスがあると良い	利用をICカード制としてセキュリティを強化する
※免許返納者には期限付きでところバスの利用等への支援がある	
小売業界が移動型スーパーを運用する	コンビニ業界が商品の搬入頻度をへらす
	現状1日に数回のペースで補充されており、必要性に疑問

公共交通

車を持っていないので移動は徒歩か自転車か公共交通のみです	自分や家族が旅行の際に旅行地まで電車で向かい、目的地でレンタカーに乗り換える	自分が公共交通を積極的に利用する	自分がところバスやところワゴンに詳しくなったほうが良い(人に教えられるので)
	ところバスはバリアフリースタッフ同乗などターゲットを絞り、西武バスと住み分ける	所沢市のバスは使い勝手が悪い	所沢市がところバスを燃料電池車に変えたり、運行情報をスマホで検索できるようにして利便性を高める

徒歩・自転車

雨の日は自転車移動が難しいので、ところバスの本数を増やす	自分には道を知るために時間を割くことが難しい	所沢魅力マップを住民から募集して一大プラットフォームを作ることです歩行者を増やす
自分が歩ける道を探していたほうがよい安全、道路沿いに店がある等	自分が魅力的な散歩ルートをいっぱい見つける	
自分が自転車で行ける範囲を広げていったほうが良い(抜け道を覚えるなど)	徒歩ルートには危険な道が多いことが課題	電動自転車は便利だが電池が切れると不便
自転車置き場が駅の近くに多くあれば駅まで車で送り迎えするのが減るのでは	高齢者の再雇用先として(有人の)自転車置き場を整備する	

【用語の解説】
 シェアサイクル：他人と自転車を共有し必要な時のみ使用する仕組み
 カーシェア：登録をした会員同士で車を共同で使用する仕組み

マチごとゼロカーボン市民会議（第4回）

テーマ：移動からゼロカーボンを考える

グループ8

インフラ整備



市、国が歩道を整備する

市がところバス乗り場を増やすと良い

市がところバスの本数をもう少し増やすと良い

市、県、国が自転車道や歩道を作った方が良い

場所の確保が難しい

車両、人員の確保が難しい

予算があるか

ところバス乗り場で道が狭いと渋滞になってしまい難しい

利用者を増やすのが難しい

土地の問題で道路を広げるのは難しい

予約制やどこでも乗れるようにする

公共交通機関を使いづらい人もある

※タクシーのバス版的な感じ

※ベビーカー利用者や高齢者、障がい者などでも使いやすくしてほしい

企業と連携する

※西武バスとところバスで乗り場を重複させる

情報共有

※ところバスが走る時間やルートなどを共有する

利用者アンケートとかで需要を調査してみたい対策する

条件を満たした方に無料バスを与える

※車を持たない人、障がい者、駅から遠い人、免許返納者など

まとめて行う（移動）

自分が車を使う用事は一度にまとめて行うようにする

自分が用事をまとめて行動するようにする

企業は物品の輸送をまとめて行った方が良い

家族が多いと「一度に」が結構難しい

機能（病院、行政、買い物…）がバラバラに分布している

働き方改革で休日を増やし、用事をまとめて行えるようにする

市が相続のタイミングで土地を確保する

駐車場が多いので減らす

※空き家が駐車場になることが多いので市のまち整備に活用する

CO₂を出さない移動手段

自分が遠出の外出は電車で移動した方が良い

自分が歩く

自分が自転車を使った方が良い

電車の場合、移動先と時間が限られる

自分のちょっとした外出は徒歩で行った方が良い

荷物が多いと難しい

疲れている時は難しい

少し遠いと楽しくて車を使ってしまう

天候によって左右されるので難しい

時間に余裕を持たせる

自分の体力・気力を鍛える

雨対策付自転車（後付けキットでも可）を開発する

そもそも論

自分が健康に気をつける

※歩いたり自転車に乗ったりするには健康であることが必要だから

体づくりのイベント・場所を増やす

施策

市や企業がカーシェアやサイクルシェアを拡大・充実する

衛生的に不安がある

ガソリンスタンドにカーシェア用の洗車機を設置する

乗り物自体を変える

企業が自転車タクシーみたいなのを作った方が良い

市や公共機関がバスを水素バスに切り替える

人力のため、つらい。遠くへは行けず難しい

近くのスーパーまでとか1km範囲とかにする

浅草の人力車のシステムを参考にする